

## 震災遺構3候補についての保存の意義・必要性の検討

昨年度の第3回石巻市震災伝承検討委員会において、「旧門脇小学校」「住吉公園」「中瀬北地区」の3地区が震災遺構の候補として残りました。これらの震災遺構候補について、保存を行う意義や必要性について整理します。

震災遺構の候補	震災による被害状況と現状	周辺の整備計画	アンケート調査	震災伝承への活用	震災遺構としての評価
<p><b>旧門脇小学校</b></p> 	<p><b>【震災による被害状況】</b></p> <p>○震災による津波と火災により被災している。南側外壁は、津波と火災により損傷、他の外壁は、地震と経年劣化による損傷がある。</p> <p><b>【現状】</b></p> <p>所有者：土地建物共に石巻市</p> <p>使用状況：校舎は、立ち入り禁止となっているが、グラウンドは高校のグラウンドとして使用中。</p>	<p>○旧門脇小学校を含む周辺一体は、「新門脇地区被災市街地復興土地区画整理事業」の事業区域内であり、今後、土地区画整理事業により整備が行われる予定である。</p> <p>○旧門脇小学校近く南浜地区で、約 48ha の復興記念公園の整備構想があり、今後、整備に向けた取り組みが進められる予定である。</p>	<p>○「全体を現地保存」とする意見が最も多く、次いで「写真・画像を撮影し、記録として保存」となっている。</p> <p>○残す理由として「強いメッセージ性があり、後世に伝える必要がある」が最も多く、次いで「将来の防災・減災に活かせる教訓となるから」となっている。</p>	<p>○震災・津波・火災の3つの被災状況が残っているものは宮城県内でも旧門脇小学校だけであり、被害状況を現物で「見せる」ことが可能である。</p> <p>○また、被災状況だけでなく、旧門脇小学校は避難に成功した場所でもあるため、避難の成功事例としても取り上げることができる。</p> <p>○震災遺構として、教訓性を次世代に伝えることに加えて、鎮魂の場としての価値もある。</p>	<p>○震災・津波・火災の3つの被災を受けた施設であり、次世代へ伝える強いメッセージ性を持っており、避難にも成功した場所でもあるため、現代の国内外の人々、次の世代に「防災・減災への教訓」を伝承することができる。</p> <p>○近くに復興記念公園が整備されることや、伝承施設を別途整備する事が可能なこと等から保存する震災遺構として望ましい。</p>
<p><b>評価：○</b></p>	<p><b>住吉公園</b></p> 	<p><b>【震災による被害】</b></p> <p>○地震により地盤が沈下し、石巻の由来である巻石が水位の低いときに水没する状況となっている。雄島は津波より護岸が破壊されている。</p> <p><b>【現状】</b></p> <p>所有者：国</p> <p>使用状況：立ち入り禁止とはなっていないが、震災後、そのままの状況となっている。</p>	<p>○住吉神社、雄島の嵩上げが計画されており、それに伴い巻石についても修復が行われる可能性がある。</p>	<p>○「全体を現地保存」とする意見が最も多く、次いで「写真・画像を撮影し、記録として保存」となっている。</p> <p>○残す理由として「強いメッセージ性があり、後世に伝える必要がある」が最も多く、次いで「津波の痕跡が分かるから」となっている。</p>	<p>○地盤沈下や護岸が破損した雄島や、巻石を被災した状態のまま残すことで、自然災害の怖さを伝えることができる場所であるが護岸整備が計画されており、現状のまま保存することは難しい。</p> <p>○嵩上げ整備により、遺構として残すことが難しい可能性がある。</p> <p>○遺構としては重要な場所であることから、整備の実施にあたり、遺構性を維持するため、原風景の記憶を残すようなデザインとなるよう事前に検討する必要がある。</p>
<p><b>評価：△</b></p>	<p><b>中瀬北地区</b></p> 	<p><b>【震災による被害】</b></p> <p>○地震より1m程度地盤が沈下、満潮時には地面がほぼ水面下に没する状態となっている。</p> <p><b>【現状】</b></p> <p>所有者：中瀬地区は、公有地と民有地があり、内海橋北側の道路部分以外は私有地となっている。</p> <p>使用状況：立ち入り禁止とはなっていないが、震災後、そのままの状況となっている。</p>	<p>○県事業により、中瀬北地区を横断する内海橋の架け替え及び新内海橋の整備が予定されている。また、中瀬北地区を含む中瀬地区全体を公園とする（仮称）中瀬公園の整備が予定されている。</p>	<p>○市民アンケートでは、「全体を現地保存」とする意見が最も多く、次いで「写真・画像を撮影し、記録として保存」となっている。</p> <p>○残す理由として「強いメッセージ性があり、後世に伝える必要がある」が最も多く、次いで津波の痕跡が分かるから」となっている。</p>	<p>○地盤沈下や津波により崩壊したものであり、現状のまま見せる事ができれば、自然災害の怖さを伝える事ができる場所であるが、護岸整備が計画されており、橋が沢山架かるため、現状のまま保存することは難しい。</p> <p>○内海橋の架け替え及び新内海橋の整備や（仮称）中瀬公園の整備により、中瀬地区の土地利用が不確定である。</p> <p>○遺構としては重要な場所であることから、整備の実施にあたり、地盤沈下の場所など遺構性を維持し、次世代に残すようなデザインとなるよう事前に検討する必要がある。</p>
<p><b>評価：△</b></p>					